

【2】再び報告のあった「共有すべき医療事故情報」

第5回報告書^(注1)において共有すべき医療事故情報として掲載し、第8回報告書^(注2)において再び報告のあった事例として再掲載した、療養上の世話に関する熱傷の類似事例2件が報告されている。

図表IV - 2 「共有すべき医療事故情報」(再掲分)

概要	内容
療養上の世話	<p>1) 化学療法中の患者が温枕を希望したため、温枕カバー、タオルなどで覆い、「熱かったら外してください」と説明した。患者はその後、眠っていた。約4時間後患者の足に発赤ができており、I度の低温熱傷と診断された。</p> <p>2) 患者の下肢に冷感があり温沈を使用した。約60度のお湯を入れ、患者の足を温枕の上に乗せた。1時間後冷感が消失したため、温沈は除去した。その後、熱傷による皮膚のびらんを発見した。</p>

(注1) 第5回報告書 P113。

(注2) 第8回報告書 P138。